

第20期（平成28～30年）第3回 公設地方卸売市場運営審議会議事録

日時：平成29年7月11日（火）午前11時00分～

場所：公設地方卸売市場青果棟 会議室

○（事務局）市場長

時間には少し早いのですが皆さんお揃いになりましたので始めさせていただきたいと思えます。本日は、大変お忙しい中お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。

只今から、苫小牧市公設地方卸売市場運営審議会を開催したいと思います。

開催にあたりまして、産業経済部長の木村よりご挨拶いたします。よろしく申し上げます。

○部長

皆様こんにちは。皆様におかれましては、大変お忙しい中お集まりいただき誠にありがとうございます。

前回の審議会においてご審議、承認いただきました当卸売市場の経営展望の策定につきまして、先般行われました市議会の文教経済常任委員会におきまして、市場のあり方の取り組み経過としてご説明させていただきました。

委員からは取り組みに関する質問もあり、生鮮食料品を扱う市場について感心は高く、新しい計画に対する期待は大きいものと感じているところでございます。

本日から部会設置等、具体的な進め方について審議いただく事になっておりますのでよろしくお願い致します。

また会議終了後には旭川卸売市場、富良野市公設卸売市場へ視察研修に出発させていただきます。

残念ながら私は公務の為欠席とさせていただきますが、先進的な取り組みをされている市場を視察いただいて、多くの見聞を広めていただければと思っております。

また、出発前には市場関連店舗のマルトマ食堂のホッキカレーを用意いたしましたので、十分味わっていただき視察の活力として頂きたいと思えます。

最後になりますが委員の皆様におかれましては市場運営のために貴重なご意見やご助言を

頂きますことを心からお願い申し上げまして開催の挨拶といたします。

○（事務局）市場長

産業経済部長はこのあと公務の為、ここで退席させていただきますのでよろしくお願いします。

それでは始めに事務局の方から出欠の報告、資料の確認をさせていただきます。

○（事務局）木戸

皆さんお疲れさまでございます。本日の会議には審議会委員15名中、13名の出席を頂いております。

それでは本日の会議資料につきまして確認させていただきます。お手元の資料をご覧ください。表紙から委員名簿と座席表、資料については、1ページから9ページまでホチキス止めしております。不備などございましたら申し付け下さるようお願い致します。よろしいでしょうか。

○（事務局）市場長

只今から会議に入りますが、会議の議長につきましては業務規程によりまして、本審議会の会長が務めることになっております。従いまして、市長会長に議事進行をお願い致します。市町会長お願い致します。

●議長 市町会長

それではお手元の式次第に沿って進めさせていただきます。

始めに、審議事項①経営展望の策定の検討体制の構築について説明を事務局よりお願いします。

○（事務局）市場長

それでは審議事項一番目、経営展望の策定の検討体制の構築についてという事でご説明させていただきます。お手元の資料の1ページをご覧ください。まず審議事項に入る前にこれからの経営展望策定の進め方についてご説明をさせていただきます。1ページ目でございますが、これに付きましては、農林水産省、国の第10次卸売整備基本方針というものがございまして、その中で基本的考え方の第一項目として卸売市場における経営戦略の確立をするように指示されたという事になっております。ここにポイントと解説を抜粋しまして載せさせていただいております。ポイントとしましては、色を付けさせていただいたのですが、卸売市場の立地条件を踏まえて、なすべきビジネスモデルの方向を定めることが重要となっております。解説の中で経営展望は卸売市場を1つの経営体ととらえて、将来を見据えた戦略的な視点からそういった創意工夫のある取組みを実行するという事になっております。この中で4点ほど項目がありまして、マーカーしております。

1 番目、それぞれの市場のあり方、位置づけ、役割分担。

2 番目、機能強化の方向

3 番目、将来の需要、供給を踏まえた市場施設の整備の考え方

4 番目、コスト管理も含めた市場運営の方針

大きく分けてこの4項目、これから各関係機関ごとに協議していくことになります。

特に当市場につきましては、この1番目と3番目ですね。1番目につきましては、数年来市場において、指定管理者制度の導入という事を検討されてきました。今後のあり方についてどのようにしていくか大きな課題になるかと思えます。また3番目でございますが、市場施設の整備の考え方、水産棟と青果棟については老朽化が進んでおりますので今後どのようにしていくのか、こういったことが大きな課題となるのではないかと考えております。下段でございますが、経営展望と経営戦略の考え方を皆様にご覧頂いております。

まず基本戦略、各市場が目指すべき方向性、ビジネスモデルをまず考えまして、それを実現に向けて行動計画を作るという手順になっております。経営展望が出来て、経営戦略を確立するという事になっております。

これが国の基本的な経営展望の考え方でございます。

2番目からこれを踏まえて、私たち苫小牧市としてどのような手順で進めていくかという事を書かせていただいております。まずは平成29年度の取り組みとして、まずは手順1. 経営展望策定の検討体制の構築でございます。まずは前回の審議会5月25日の時に経営展望の概要と策定までと部会を設置していく事についてご承認を受けています。

今日でございますが、今回市場運営審議会の中に水産、青果、花卉の3部会を設置し、各委員さんを配置する事になります。これは後程、案を提示させて頂きますのでよろしく願います。

本日はここまでさせて頂くという事になっています。

次に手順2としまして、これは次回以降になりますが、外部環境および、内部環境の分析ということでSWOT分析という方法を用います。これは一般企業さんとかもされている方法ですが、まずは内部環境の強み、弱み、また外部環境の機会、脅威という4つの要素を組み合わせ、整理し、分析するというこういう客観的な方法を使って、まずは市場自体をどのようにやっていくのか、現状を把握するという事でございます。まずは部会を開催しまして、7月の下旬から9月までに1、2回程度開催していきたいと思えます。

SWOT分析に関しましても、少し専門的な分析になりますので、次回までに市場にあてはめまして、どのような形で分析を出していくのか、手順表のようなものを作りたいと思えます。それと市場の全てのデータ、今持っているデータを1冊の本にして次回までに皆さんのもとに送付する事になると思えますが、用意させて頂きたいと思えます。それを見て分析をしていただくこととなります。そして9月の下旬にはもう一度このメンバーで審議会を開

催させていただき、その分析の結果、各部会から発表していただきます。このような手順で進めさせていただきます。

次に手順3でございますが、このSWOT分析から導いた方向性に基きまして、今現在、私どもの方で建物の劣化の調査を行っております。これは水産棟、青果棟の劣化度の調査を行っております。その分析の結果を受けまして、目指すべき市場の基本整備、基本戦略、ビジネスモデルとなりますが、そういうものを定めていきたいと思っております。またこの部会の中には、市の関係部局や、漁組、JAなどの生産者、また生花店など幅広く参加していただいて、率直な意見をビジネスモデルについて協議していただきたいと思っております。期間的には10月～12月の間ぐらいに部会を1回～3回程度、部会にもよりますが、開催していただきまして、来年の1月の下旬ぐらいまでに審議会を開催してそこで報告して頂くという手順です。

次の3ページでございますが、30年度の取り組みに関してでございます。ここは簡単に4項目だけとなっておりますが、今までの基本計画、基本戦略を受けまして行動計画、実際の計画を策定いたします。これは手順4から5でございます。ここで策定して、手順6で公表して、これから戦略というかたちになります。こちらの来年度につきましては、委託事業をかけて、コンサルタントを委託したいと思っております。予算が通れば、専門的な方に皆さんの意見をまとめて頂いて、ひとつの行動計画というものを示していきたいと思っております。その詳細については後日提示させていただきます。

平成31年度以降につきましては、この行動計画、出来た計画に基きまして遂行状況の評価の見直し、これは定期的に年一回か二回になると思っておりますが、定期的に行いまして時代に合わなくなったものについては見直していくというように進めていきたいと思っております。審議事項1に入る前に進め方について、説明させていただきました。

●議長 市町会長

今、事務局の方から説明がありましたが、これにつきまして何か聞きたいことありますでしょうか？

●佐々木委員

このSWOT分析というもの、私初めて聞くのですが、こういう分析方法ってたくさんあると思うのですが、このSWOT分析を取り入れるという事はどういう利点があるのですか。いろんな分析があると思うのですが。

○（事務局）市場長

SWOT分析は一般的には、企業や事業などの効率性、戦略策定などによる分析方法であると聞いております。一定のこういう表とか、今日は用意してなくて申し訳ないのですが、客観的にいろいろ市場の形を調査出来るという事で、これが強み、これが弱みというふうと

で、客観的に市場を見直す事が出来るという事で多く用いられる手法でございます。また国の方からの手引きの中でも、やり方としてこういう分析方法と例をいただきまして、これにこだわる必要はないのですが、SWOT分析をやっていくのが良いのではないかと指導がございましたので、当市としましてはこれを採用していきたいと考えております。ただ分析自体は、一般企業さんでは非常に長いものになって、大変なものもあるので、それをちょっと市場バージョンにしまして、次回までに簡略化したものを用いたいと思っております。よろしく申し上げます。

○(事務局) 産業経済部 望月次長

補足して中央市場については今、経営展望これから入るのですが、これに先立ちまして全国の中央市場でも同じようにSWOT分析を行っています。地方市場と中央市場多少違いますけれども、その中で出ているいろいろな方向性、見方など大変参考になるので、比較検討材料としては、同じ方式をとったほうがわかりやすいのではないかという事で、今回こちらの分析方法を採用していきたいと考えているところでございます。

●議長 市町会長

これは別に市場に特化したような分析ではなくて？必ずしも市場に特化している訳ではなくて？

○(事務局) 市場長

はい。一般企業でも使います。

●議長 市町会長

他にございますか？

●山内副会長

部会は市の関係部局や、漁組およびJAなどの生産者、生花店などに参加してもらいと2ページにあるのですが、一般市民に意見を聞くという方法とかアンケートを取るなどという方法は考えているのですか？

○(事務局) 市場長

それは実際、素案が出来た時点でパブリックコメントを実施しまして、市民の方に広く意見を求めたいと思っております。

●議長 市町会長

他にございますか？

なければ、次に。

○（事務局）市場長

引き続き審議事項1に入りたいと思います。資料4ページ、経営展望策定の検討体制の構築についてです。

（1）経営展望策定の検討部会の設置要項についてということで、別紙1を添付させていただいています。別紙1に付きましては5、6ページでございます。審議会の中に検討部会設置の要綱を定めさせていただき、これから策定について進めていきたいと思っています。この要綱の中で、まずポイントとなる所でございますが、まず第3条、部会でございますが、部会の構成でございますが、3部会を設置させて頂きたいと思っております。水産部会、青果部会、花卉部会の3部会です。運営審議会につきましては各5名、全体で15名おりますので、各5名ずつ配置ということになります。任期につきましては、審議会委員の任期とさせて頂きます。役員につきましては、部会の中で部会長を1名、副部会長を1名と考えております。事業につきましては先程説明させていただきました、経営展望についての具体的な内容について協議していくということになります。第7条でございますが、副会長さんもおっしゃっていましたが、他の方、漁組さんとか生産者の方とかいろいろな意見を聞くという事は、部会長が必要であると認めた時に出席させ、意見を述べさせていただく事が出来るという条項を加えさせていただいています。今、私どもの計画の中では、先程説明いたしました基本戦略の策定の時にお呼びしたいと思っております。部会長さんと協議していただければと思います。事務局につきましては市場管理室に、私どもの方でさせていただき、要項については、本日から施行させていただきたいと思っております。これが（1）の審議項目でございます。

（2）検討部会の設置という事で、4ページに戻りますが、先程申し上げました水産、青果、花卉の3部会を設置する。各委員5名で構成。専門の職域によって選出された委員についてはそのまま専門部会に入らせていただくという風に思っております。水産につきましては、マルトマ卸売会社の菅原委員様、漁業買受人協同組合の石垣様、青果部会につきましては、丸一中央青果の大窪委員様、青果仲卸協同組合の飯島委員様、苫小牧青果商業協同組合、田中委員様、花卉部会につきましては、苫小牧中央花卉の島委員様、株式会社苫花、鈴木委員様、苫小牧生花商組合、米田委員様につきましてはそれぞれの部会に入らせていただきます。尚、部会長、副部会長の選出について、ここにその他の委員さん配置いたしまして、その中から部会長、副部会長から1名ずつ選出していただきます。本日はまずは設置要項について、部会設置についてここに名前が入っていない委員様を配置していただくという事と、部会長と副部会長を選出していただくということを考えております。以上でございます。

●議長 市町会長

選出の前に皆様からご意見、ご質問はありませんか。

(3) 番目の部会長、副部会長の選出について各部会ごとに決める、これに関して事務局のほうから何かありますか。

○(事務局) 市場長

はい。もし事務局一任でよろしければ。

●議長 市町会長

事務局一任で。

○(事務局) 市場長

よろしいですか。それでは、今お手元に事務局の案を配らせていただきました。

水産部会でございますが、苫小牧商工会議所、市町会長様。苫小牧市町内連合会、佐々木委員様。一般公募、橋根様が水産部会に入っていたきたいと思っております。

次に青果部会でございますが、苫小牧駒澤大学、田崎委員様。苫小牧市消費者協会、山内副会長様。この2名の方に青果部会に入っていたきたいと思っております。

次に花卉部会でございますが、苫小牧市町内会婦人部会、工藤委員様。苫小牧市婦人団体協議会、緒方委員様につきましては花卉部会に入っていたきたいと思っております。

よろしいでしょうか。

続きまして部会長、副部会長の選出でございますが、公平をきす為に職域で選出された委員様以外の方になっていただきたいと思っております。

水産部会長につきましては市町会長様。副部会長につきましては佐々木委員様。

青果部会長につきましては田崎委員様。副部会長につきましては山内副会長様。

花卉部会長につきましては工藤委員様。副部会長につきましては緒方委員様のお願いしたいと思っております。どうぞよろしくお願ひします。

●議長 市町会長

今、事務局の方から提案がありましたがこの案についていかがでしょうか。よろしいでしょうか。ではこの案にさせていただきますと思います。

続きまして2番目の青果市場駐車場のぷらっと港市場への貸出し経過について。事務局お願ひ致します。

○(事務局) 市場長

前回の審議会の中でご承認いただきました、ぷらっと港市場への有料の貸出しについて詳細が決まりましたのでご報告をさせていただきます。まず7、8ページでございますがこの中の8ページ目をお示して説明させていただきたいと思ひます。ピンクの部分、ここにつきまし

では7月1日から有料で貸出すということになりました。

貸付面積につきましては、562.1㎡。貸付料金につきましては月4万円ということでございます。実質部分につきましては大型車2台、乗用車26台、既存部分と合わせると50台ぐらいが可能となると考えております。7ページでございますが、この部分については主にぷらっと港市場の店舗の関係者が駐車しているという事で、ここについては有料でぷらっと港市場に貸出すという事になりました。次に図面にあるオレンジ色の部分、②の部分でございますが、当初ここも一緒に貸出せないかと協議を進めていた訳でございますが、ここにつきましてはやはりぷらっと港市場さんだけが使っている訳ではなくて、サンワールドさん、マルトマ食堂さんなどほぼ全体に来る方々が使われている駐車場であるということもございまして、市場の運営に支障を及ぼさない範囲でということ、このオレンジ部分については市民の方、観光客の方に一般開放するという方向で整備したいと考えております。これはどうしても市場関係者の方のご理解が必要だと思っております。主旨の方理解のうえ、承認していただきたいと思っております。管理につきましては、線引き、看板等の設置等検討しまして区分けし、解るようにしたいと思っております。

効果としましては地場産の生鮮食品の消費、促進に繋がる、また卸売市場のPRに繋がると考えてご承認いただければと思っております。具体的には9月以降の広報等に通知し一般の方への周知を実施したいと考えております。以上です。よろしく申し上げます。

●議長 市町会長

いかがでしょうか。

●議長 市町会長

結局、ぷらっとさんだけで負担するのが大変いうのもあるのでしょ。ただ、魚とか青果を含めてこの市場全体の事を、来るお客さんの事を考えたらこれくらいの事は用意しなくて良いんじゃないかなと個人的には思います。また市場関係者につきましても、私も市場関係者の1人ですけど、関係者の整理して困る事がないというのは良い事だと思います。皆さんどうでしょうか。困る人がいないという事でよろしいのではないのでしょうか。

○(事務局)市場長

ありがとうございます。

●議長 市町会長

次に報告事項1、市場開放について

○(事務局)市場長

資料の9ページ報告事項でございますが、今回の審議会中でもお知らせさせていただいた

のですが、今年から市場開放をしていきたいという事で、仮の名前として感謝祭と言いますが、関係者と協議進めているところでございます。期間的にどうしても、10月ぐらいまでにやらないと難しいということで、10月中に実施する予定でございます。2案ありまして、第1案としまして10月15日(日)、苫小牧市で女性会議がありましてそれとぶつかっておりますが、女性会議自体は土曜日にメインの会議がありまして、日曜日についてはエクスカーションとなっております、市内を見学して提案する。8コース決まっているものですからそういう事を聞きまして、苫小牧へいらした方へのPRもかねて、これはぷらっとさんも一緒に提案する形になると思うのですが、感謝祭をしたらどうかというのが1案です。第2案につきまして10月22日(日)これはホッキ祭りの時に一緒に青果市場をPRしていくというのが第2案でございます。こちらの方はお客さんがすごく来るのは間違いないので非常にそういう面では集客効果というものはございますが、只今までホッキ祭りさんのほうで実行委員会を組んで実行委員会方式で行っていたものですから、いまそちらに入れるかということ、まあ場所は違うのですが向こうがいろいろやってきて、みんなでお金を出し合って今まで盛り上げてきたという実行委員さんの事もありますので、その調整が上手くいくかなあという所で今、調整をしている段階でございます。現時点では期間はとばしていただいて、10月のうちに開催したいと思っています。実際の進め方としましては、市場連絡協議会のなかに実行委員会を発足して協議を進めていきたいと思っております。急遽7月18日に行う予定をしておりますので、その時に皆さんと話し合っ決めていきたいと思っております。こちらについては市場関係者のほうで勧めてまいりまして、正式に時間と場所が決まりましたら報告させていただきます。以上です。

●議長 市町会長

日程、場所って第1案、第2案とありますが10月15日か22日ということですか？

○(事務局) 市場長

はいそうです。

●議長 市町会長

今日決めるという事ですか？

○(事務局) 市場長

決めないです。こういう状況ですという事で報告させていただきました。実際決めるのは市場関係者の方で決めますので。関連性があるという事で報告事項としてあげさせていただきました。

●菅原委員

イメージ的にはどのようなものなの？

○（事務局）市場長

イメージとしましては青果棟の中で野菜を売ったり、模擬セリや袋詰めをしたりというイベントを少しやって皆様に販売していただく。花卉についてはこちらの方に来ていただいてやるというイメージでございます。ホッキ祭りになった時は当然、水産は関係なくそちらの方でやっていますので。

●菅原委員

ホッキ祭りの時にやる、やらないだけではなく、水産は関係ないという事ですか？

○（事務局）市場長

15日になった時には一応、市場全体でこの連絡協議会の中では水産も話し合いに入っていて、ホッキ祭りのからみで無理だということになればそれはそれで。

●菅原委員

難しいと思う。最高に忙しい時だからね。

○（事務局）市場長

多分そうだと思います。ただ話し合いの中に入っていただきたいと思います。当然、連絡協議会の中でやりますのでその時に。基本は青果と花卉でという事になります。

●菅原委員

基本的にどんな事をどんな風にやるの？

○（事務局）市場長

青果棟の中を使わせていただいて、半分ないしは2/3ぐらいになるかもしれませんが、青果棟のメインが真ん中になりますので、そこまでは使いたなと思っております。

●菅原委員

市民にアピールしなきゃいけないでしょ

○（事務局）市場長

はいそうですね。ホッキ祭りと一緒にした場合、ホッキ祭りがメインでやっていますのでそちらの案内と所に一緒に入って、こちらの方もやっていますよという案内をいれるか、もしホッキ祭りとは別になれば、広報等単独になりますのでチラシも単独で作ってPRして

行こうと思っております。逆に違う日の方が人が来る率が少ない感じがあるので、こちらのほうは積極的にPRしていこうと思っております。

●菅原委員

これは一回なの？続けるの？

○（事務局）市場長

一応、継続してやっていきたいと思っております。まずは今年とりあえず初めてなので。ずっと昔はやっていたと聞いているのですけれども、トライしていきたいなと思っております。

●議長 市町会長

ホッキ祭りの時は青果でもテント出して売ったりするのですか？

●菅原委員

うちは、2階も1階も出るようにして下では全くない訳ではないのだけど、基本的にはホッキということで、ホッキを使ったものをメインでやっている。

●議長 市町会長

であれですよ、車はやっぱりここにも来るのですよね？

○（事務局）市場長

はい

●議長 市町会長

そしたら、ホッキ祭りの時にやるのが一番良いのでは？

○（事務局）市場長

人数的には一番そうですね。

○（事務局）産業経済部 望月次長

ホッキ祭りの方では野菜、前は野菜も売ったりしていたのですが、今は入っていないので、去年総合受付にいたのですが野菜どこで買えますかという問合せ結構あったのですよ。それでぷらっとさんとかサンワールドさん紹介してそちらに流してもらっていたのですが、まあ魚がメインではあるのだけどこれを機会に両方買っていくというようにしておりますので、同じ日に開いたほうが相乗効果としては上がるのではないかなと期待してい

るところなのですが、ただ駐車場がですね、とにかく大渋滞がおきるくらい場所がなく、今のホッキ祭りの規模ではこの会場でやるのは限界だという事で、これ以上広げないないようにしようと実行委員会でも話が出ているくらい人が多くなっているのです、またこれが乗った時にさらに人が増えてしまって現実問題としてどうしようかなという所まで考えなければいけないというところがあります。

●議長 市町会長

ぷらっとさんはやはり良い効果なのですか。ぷらっと市場さんは。

○(事務局) 産業経済部 望月次長

ホッキはもう朝の6時くらいから並び始めますからね。ものすごい人なのです。で買えない人が結構いますので、どこで買えますかと聞かれると、ぷらっとさんとサンワールドさんを紹介するので、すごく流れるお客さん多いですし効果は非常に高いと思います。

●議長 市町会長

ホッキ祭り自体影響を及ぼすのではないかまずは聞かないといけないね。

○(事務局) 市場長

実は漁組さんとも事前にちょっとお話をしておきまして、先程言われたような事をお聞きして、慎重に進めていかなければと思っております。今上手くやっていますので、それを壊さないように考える。

将来的には漁組さんも大きな漁港区全体としてやっていけたら良いなというものもあるんですが、それはまた将来的な話になるので。また関係者の方と話を詰めまして次回の会議に話決まりましたらご報告させていただきます。

●田崎委員

昨年ホッキ祭りに参加させていただいて、感じたことをお話しさせていただいて良いでしょうか。

○(事務局) 市場長

お願いします。

●田崎委員

漁組さんサイドで作っているホッキご飯とカレーですが、あれは本当に相当並びます。1時間ぐらい並んで、結果的に11時の段階ではホッキご飯売り切れていたという事で、私がそろそろ入口でギリギリだったみたいで、10時位に行ったと思うのですが、プラカードでこ

ここからはもうホッキご飯ありませんと言われて、まあそこから3、4人大丈夫だったみたいですが、そうするとホッキ祭りをよくご存知のお客は早く行って並んでおりますが、うちの大学の学生がだいたい朝遅くてお昼ぐらいにお昼ご飯を食べようと思って行くともうないですね。だからそういう状況でその段階でじゃあ何かというと漁組さんではなくて、一般でお店を出している所だったり、ぷらっとに行ったりとそういう風に結果的に買い物に来るのが目的の人とちょっとご飯を食べに行くという目的の人と違うと組成が違うと思いますので、そういう意味で漁組さんがホッキを広めるという意味と、違う楽しみで来られているお客様に対して何が提供できるだとか、来たお客様に喜んでいただけるには他にどんな事があるのかというもっと互換できるような立場と一緒にやっていく事はできないかなあとのというのが気持ちとしてあります。先程のお野菜の話ですけれども、ぷらっとのほうで確かに野菜がちょっと出ていたのですが、車で来られている人は箱で買いますけれども、私歩いて来てまして、その中でちょっと持って帰れるような、少量で買っていただけるようなものが厳しい状況でしたので、もしかしたらドンというだけではなく少量でも買えるというように、今までの固定観念を取り払って全員が車で寄って大量に買って帰るじゃない、違う層に対しても楽しんで頂いてちょっとずつお金を落としいただける、そういった今までとちょっと違う視点で考えると違う層を取り込む事が出来るのではないかなと思います。以上です。

●米田委員

これもSWOT分析したらどうかなあ。一度やってみるといいかもしれないですね。

○(事務局) 市場長

報告事項は以上でございます。

●議長 市町会長

審議会員視察研修について。

○(事務局) 木戸

私の方からご説明させていただきます。本日審議会終了後から明日までの間、旭川市の卸売市場であります、株式会社旭一と富良野市公設卸売市場の視察をしてまいります。審議会委員11名の方々と私たち3名、合計14名で出発しますのでよろしく申し上げます。行程の詳細につきましては参加されない方もいらっしゃいますので後ほどご説明させていただきます。視察に参加される方につきましては、会議終了後このまま残っていただいて、お昼を食べ12時半ごろの出発を予定しておりますのでよろしく申し上げます。以上です。

●議長 市町会長

全体につきまして何かご質問、ご意見ありませんか。
なければ以上で市場運営審議会を終了いたします。